

平成25年度事業報告及び事業報告の附属明細書について

I 概要

かながわのナショナル・トラスト運動や県土緑化運動を一層推進するため、地域緑化活動を通じたネットワークの強化を図りながら、県民、企業等からの寄附金の拡充に努めるとともに緑地保全や県民参加の森林づくり事業の強化を基本方針として各事業については次のとおり取り組んだ。

- 普及啓発事業では、かながわのナショナル・トラスト運動等の普及啓発活動を行ったほか、WEBサイト、機関誌、地域情報紙等による広報等に積極的に努めた。
- 地域緑化活動事業では、地区推進協議会において、市町村のイベント等でかながわのナショナル・トラスト運動等の普及啓発活動を行うとともに、みどりの実践団体の育成、樹木配布による地域の緑化推進に努めた。
- 緑地保全事業では、所有者との緑地保存契約の締結、県内各市町村が行う緑地等指定事業への助成及び保存契約緑地等における剪定、草刈り等の緑地管理を実施した。
- 県民参加の森林づくり事業では、森林ボランティア活動の推進、森林インストラクターの養成、成長の森、新たな活動フィールドの準備等により、県民の森林づくりへの参加促進に努めた。
- 緑の募金事業では、教育機関、市町村等と連携して緑の募金を推進するとともに、学校や地域の緑化活動の支援、緑化運動・育樹運動コンクール及び緑の少年団の活動支援等を実施した。

II 事業の実施状況

1 普及啓発事業

(1) 広報普及活動

みどりを守り育てる運動を県民や企業等に周知し、会員登録、基金への募金など、運動への参加を促進するために市民祭り等での街頭キャンペーン、ホームページや地域情報誌等による広報、自然観察会等を行った。

ア イベントでの普及啓発活動

(ア) 伊勢原公園緑花まつり

開催日 平成25年5月11日(土)、12日(日)

場 所 伊勢原市総合運動公園

(イ) 藤沢市民まつり

開催日 平成25年9月28日(土)、29日(日)

場 所 藤沢駅コンコース

(ウ) フラワーフェスティバルおおふな

開催日 平成25年11月2日(土)、3日(日・祝)

場 所 フラワーセンター大船植物園

(エ) トラスト緑地の音楽会

開催日 平成25年11月3日(日・祝)

場 所 桜ヶ丘緑地(横浜市保土ヶ谷区)

(オ) SATOYAMA&SATOUMIへ行こう!

開催日 平成26年3月29日(土)、30日(日)

場 所 パシフィコ横浜

イ 機関誌ミドリの発行

機関誌ミドリを4回発行し、会員や県、市町村、県立公園、博物館等に配布して県民のみどりに対する理解増進を図った。

号	発行	発行部数	主な内容
89(夏)	25年 7月	10,000部	平成24年度決算報告、保育付きの里山活動、小網代の森の水系生物調査結果など
90(秋)	25年10月	10,000部	ヤマビルの生態とその防除方法、神奈川の木を使うこと～神奈川県産の木材利用～、トラスト緑地の自然再生活動にご協力をなど
91(冬)	25年12月	10,000部	丹沢山地ニホンジカの保護管理、神奈川の木を使うこと～首都圏の裏山として～など
92(春)	26年 3月	12,000部	小網代の森の保全、里山のタカ～オオタカとサンバ、緑の募金のお願いなど

ウ かながわのナショナル・トラスト運動のPR

トラスト運動リーフレットや啓発用物品を作成し、市民団体、コンビニ、企業及びイベント等で配布した。

- ・入会申込書付きリーフレット 50,000部
- ・かながわトラストみどり基金リーフレット 11,500部
- ・「かながわのナショナル・トラスト」新聞折込用チラシ 600,000部

エ インターネットによる情報提供

緑地保全、ボランティア育成など財団事業をWEBサイトでわかりやすく紹介し財団の活動への参加を呼びかけた。

オ 自然観察会等の開催

(ア) 古都鎌倉 緑と歴史の自然探訪 ((公財) 鎌倉風致保存会との共催)

開催日 平成25年6月1日(土)ほか1回

場 所 鶴岡八幡宮ほか

参加者 計72名

内 容 中世都市鎌倉の国史跡の歴史と自然の学習

(イ) みどりのがっこう (コープかながわとの共催)

開催日 平成25年6月29日(土)ほか3回

場 所 新横浜ユウホールほか

参加者 計147名

内 容 講座、動植物の自然観察

(ウ) 自然観察会

開催日 平成25年4月21日(日)ほか5回

場 所 小網代の森ほか

参加者 計139名

内 容 都市公園や森林、トラスト緑地の植物、樹木、地質、野鳥の見学

(エ) 森林探訪（NPO法人かながわ森林インストラクターの会との共催）

開催日 平成25年5月18日（土）ほか1回

場 所 渋沢丘陵ほか

参加者 計128名

内 容 里山林、水源林等の自然観察

(オ) 鎌倉3大緑地を巡る新春ウォーク

開催日 平成26年1月15日（水）

場 所 鎌倉広町緑地、常盤山緑地、山崎台峰緑地

参加者 55名

内 容 西鎌倉駅から鎌倉3大緑地を散策する10kmのウォーク

(カ) 箱根仙石原ススキ草原の自然環境保全活動

開催日 平成25年12月4日（水）

場 所 トラスト緑地・箱根仙石原ススキ草原

参加者 47名

内 容 仙石原緑地でのススキ刈り

カ トラスト運動事務電算システムの管理

会員、イベント参加者等、顧客情報のセキュリティー対策や入力様式の改善を行い、データの安全性の強化と操作性の向上を図り、トラスト運動の促進に活用した。

キ かながわトラストみどり財団サポーター制度の導入及び活用

財団の事業運営を支援するサポーター制度を設け、サポーターを登録し、自然観察会の開催等に活用した。

登録人数 37人

活用回数 自然観察会（3月8日開催）ほか1回

ク 大学生の自然環境保全活動への支援

みどりを守り育てる活動を行う大学のサークル等を支援するため、活動費を助成した。

交付先：和光大学「かわ道楽」 助成額：100,000円

ケ 会員数

[]は内、トラスト緑地保全支援会員数

会員種別		平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末
普通 会 員	個人会員	12,304名 〔308名〕	12,258名 〔338名〕	12,139名 〔375名〕
	家族会員	22,156名 〔328名〕	21,765名 〔358名〕	21,325名 〔438名〕
	グループ会員	3,265名	3,265名	3,265名
	団体会員	422名 〔8名〕	432名 〔12名〕	437名 〔16名〕
特別会員		331名	328名	325名
名誉会員		6名	6名	6名
会員数		38,484名 〔644名〕	38,054名 〔708名〕	37,497名 〔829名〕
(内、過去1年間に会費の納入があった会員数)		(10,703名) (27.8%)	(10,064名) (26.4%)	(9,803名) (26.1%)

(2) 緑化協力金制度の運営

49箇所（うち1箇所閉鎖中）の協力駐車場のうち当財団では片瀬海岸（地下）や県民ホールなど28箇所の駐車場の緑化協力金を集結し、県のトラスト基金への積み立てを行った。

なお、平成25年11月に県立がんセンターが新たに協力駐車場となったため、当該駐車場機器の緑化協力金対応費用を負担した。

また、緑化協力金制度への理解を得るためポスター、チラシ及び啓発資材を作成して配布した。

2 地域緑化活動事業

地域緑化を推進するため、みどりの実践団体を発掘するとともに、みどりの実践団体が行う緑化活動を支援するため苗木の配布及び研修会等を開催した。また、市町村、関係団体等の協力を得て、各地区推進協議会の地域特性を活かした事業を実施した。

(1) みどりの実践団体の育成

地域におけるみどりの愛護と創造を实践する団体に対し奨励金を交付した。

初年度奨励金15団体、2年度奨励金5団体

また、三浦半島地区、県央地区、湘南地区、足柄上地区、西湘地区の5つの地区推進協議会を2組に分け、合同での研修・交流会を開催し、地域を超えた交流を推進するとともに育成を支援した。

ア 三浦半島地区推進協議会、足柄上地区推進協議会及び西湘地区推進協議会
研修・交流会

開催日 平成25年10月2日（水）

場 所 県立21世紀の森及びアサヒビール(株)神奈川工場

参加者 44名

イ 県央地区推進協議会及び湘南地区推進協議会
研修・交流会

開催日 平成25年10月4日（金）

場 所 県立21世紀の森及びアサヒビール(株)神奈川工場

参加者 63名

(2) 樹木の配布

みどりの実践団体に樹木を配布することで、地域の緑化を推進した。

ア 横浜地区みどりの実践団体 19団体

サツキ等11種 1,727本

イ 川崎地区みどりの実践団体 15団体

オオムラサキツツジ等14種 805本

ウ 三浦半島地区みどりの実践団体 6団体

ジンチョウゲ等11種 257本

エ 県央地区みどりの実践団体 4団体

ミツバツツジ等9種 144本

オ 湘南地区みどりの実践団体 10団体

ドウダンツツジ等12種 646本

カ 足柄上地区みどりの実践団体 5団体

アジサイ等9種 286本

キ 西湘地区みどりの実践団体 9団体

イロハモミジ等8種 595本

(3) 地域活動の育成

県民参加による緑化推進、かながわナショナル・トラスト運動の普及啓発、会員の拡大等を推進するため各地区において次のとおり事業を実施した。

ア 三浦半島地区推進協議会

かまくらと三浦半島のみどりと花のまちづくり～街角にみどりと花のある風景～改訂版
選定

開催日 平成25年8月7日(水)、11月12日(火)
平成26年2月19日(水)

場 所 神奈川県横須賀合同庁舎

イ 県央地区推進協議会

緑の書道コンクール

対 象 県央地区小・中学校(参加96校)

応募数 8,501点(入選 180点)

審査会 平成25年10月17日(木)

表彰式 平成25年11月30日(土)

展示会 あつぎロードギャラリーほか6箇所(平成25年12月～26年2月)

ウ 湘南地区推進協議会

湘南グリーンコネクション2013

開催日 平成25年11月7日(木)

会 場 二宮町生涯学習センター

参加者 61人

エ 足柄上地区推進協議会

あしがらグリーンウォーキング

開催日 平成25年9月8日(日)ほか1回

場 所 真鶴半島ほか

参加者 計63人

オ 西湘地区推進協議会

園芸講習会

開催日 平成25年10月30日(水)

場 所 小田原フラワーガーデン

参加者 38人

カ 地区会報の発行

かながわのナショナル・トラスト運動の紹介、会員募集、かながわトラストみどり基金の募金及び各地区の事業を題材に5つの地区推進協議会の活動等を掲載した「かながわグリーンサポーターズ」を作成発行し、地域の緑化運動を推進した。

発行時期：平成26年3月下旬

発行部数：2,500部

(4) 相模原地域緑化事業

相模原地域については、当財団と同様の活動を行っている(公財)相模原市みどりの協会にみどりの実践団体の育成や地域の緑化推進等の業務を委託した。

3 緑地保全事業

緑地所有者と緑地保存契約を締結して、緑地の適正な維持管理に努めるとともに市町村の緑地等指定事業への助成を行った。

(1) 緑地保存契約

6箇所の緑地について、緑地所有者と保存契約を締結し、保全を図った。

緑地名	緑地総面積 (㎡)	保存契約 対象面積 (A) (㎡)	保存契約 面積 (B) (㎡)	契約率 (B/A) (%)	契約 期間 (年)	年間賃借料 (円)
葛葉緑地 (秦野市)	153,123.95	78,545.84	57,661.84	73.4	10	2,921,757
久田緑地 (大和市)	100,036.00	82,043.00	70,500.00	85.9	10	5,076,720
泉の森緑地 (大和市)	80,052.31	40,516.46	27,597.38	68.1	10	3,513,754
川名緑地 (藤沢市)	78,943.00	21,745.00	2,303.00	10.6	10	42,894
大崎緑地 (逗子市)	70,936.70	54,177.70	17,544.70	32.4	10	1,438,665
小網代の森緑 地(三浦市)	574,500.00	85,961.00	85,961.00	100	10	52,856
6 緑地 計	1,057,591.96	362,989.00	261,567.92	72.1	—	13,046,646

(2) 保存契約緑地等の維持管理

葛葉緑地（秦野市）、久田緑地（大和市）及び小網代の森緑地（三浦市）の自然環境の保全のため、樹木の剪定や伐採など適正な管理に努めた。

(3) 市町村の緑地等指定事業への助成

市が緑地所有者との契約により緑地保全を図る事業に助成した。

市町村	緑地等指定面積	実績額	助成金交付額	助成率
横浜市他13市	1,461,148.80㎡	74,134,826円	20,000,000円	26.98%

(4) 緑地保全コーディネート

ア 保全活動の調整

小網代の森緑地について、財団、県、有識者、保全活動団体等で構成する小網代の森保全活用対策協議会を開催して小網代の森の利用、保全対策、管理活動等について協議した。

開催日 平成25年11月19日（火）ほか1回

会場 かながわ県民センター

イ 自主的な保全活動への助成

三つのモデル緑地において、自主的に保全活動にあたる3団体に対してトラスト緑地保全支援事業として活動費の一部を助成した。

・小網代の森緑地（小網代野外活動調整会議）

水棲生物の調査など自然回復のモニタリングを継続して実施し、大規模な湿地環境再生事業や外来植物除去作業に取り組んだ。

・久田緑地（久田緑地くらぶ）

竹林の定期的な伐採や落ち葉かきなど里山の維持管理活動に取り組んだ。

・桜ヶ丘緑地（桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト）

水辺の環境の維持管理作業を地元小学校と取り組むなど、地域連携による環境保全活動に取り組んだ。

4 県民参加の森林づくり事業

(1) ボランティア活動の推進

県民参加による豊かな森林づくりを推進するため、多様な森林づくりボランティア活動の機会の提供、初心者の方の森林づくり体験や小・中・高校生の森林体験学習の促進、自立型活動団体への助成等を行った。

ア 活動実績

区 分	活 動 内 容	回数	面積(ha)	延人員(人)
一般ボランティア 実践活動	・植栽、下刈り、枝打ち、 間伐、竹林整備	15	17.56	951
小・中・高校生の 森林学習等支援	・森林学習、自然観察、 森林作業	38	—	4,020
計		53	17.56	4,971

イ 自立型活動団体への支援

森林づくりや里山整備を行っている自主的活動団体へ活動経費の一部を助成した。

17団体（えびなの森「森の楽校」ほか16団体）

ウ ボランティア交流会

県内各地の森林、里山、緑地などで緑のボランティア活動を行っている団体を対象に活動技術の向上を促すため技術講習会を開催した。

開催日 平成25年7月11日（木）～12日（金）

開催場所 足柄上合同庁舎

参加者 46名

(2) 森林インストラクター

県民の森林への理解を深めるための普及啓発やボランティア活動等の円滑な推進を図るため、森林インストラクターの育成及びボランティア活動への森林インストラクター派遣の支援等を行った。

ア 森林インストラクターの派遣

県内の各種団体等が実施する森林づくり活動や自然観察会等に神奈川県森林インストラクターを派遣した。

派遣回数 105回 参加人数計 5,757名

イ 森林インストラクター派遣調整事務の委託

財団主催のボランティア活動推進事業と前記森林インストラクター派遣に係る森林インストラクターの人選、調整、派遣等をNPO法人かながわ森林インストラクターの会に委託した。

調整回数 158回 派遣人数計 912名

ウ 森林インストラクターブラッシュアップ研修

神奈川県森林インストラクターを対象に指導者としての資質の向上を図るため、救命救急手法、森林作業方法と安全管理等に関する研修を実施した。

講座回数 3回 受講者数計 106名

エ 森林インストラクターの養成

子ども達の森林体験学習や県民の森林づくり活動の多様化に対応した指導者を養成するため、第13期神奈川県森林インストラクター養成講座（第2年次）を開講し、32名の受講者が神奈川県知事より認定を受けた。

講座日数 10日（開講期間：平成25年4月～11月）

(3) 森林づくり普及啓発

県民の森林への理解を深め、森林づくりへの参加を促進するため、普及啓発活動を行った。

ア 森林づくり日程表等の作成

森林づくりへの参加を促進するため森林づくり活動日程表等を作成し、配布した。

日程表の作成数：20,000部 配布先：既参加者、行政機関、企業等

イ やどりき水源林の案内

県民に水源の森林づくりへの理解を深めるため、「水源かん養機能の高い見本林」として整備している「やどりき水源林」に毎週土曜日と日曜日（12月から2月を除く）に「森の案内人」を配置し、水源の森林づくりの解説や森林の案内を行った。

配置場所：やどりき水源林（松田町寄）

配置人員：延べ222名

ウ 成長の森

赤ちゃんが誕生した家族から神奈川県産無花粉スギの苗木の寄付を受け、県と財団が連携して県立21世紀の森で森林づくりを行った。現地で植樹会を開催し、子どもの健やかな成長と苗木の成長を実感できる機会を提供し、かながわの森林への理解増進を図った。

苗木寄付 263家族 344名

植樹会 平成26年3月8日（土） 340名

エ 街頭キャンペーン

県民の参加と協働を一層高め水源環境保全再生への取り組みを促進するため、森林に親しむ機会の少ない都市部の県民に向け、水を育む森林の大切さ等について普及啓発活動を行った。

開催日：平成25年6月8日～平成25年11月4日（延べ7日）

場所：臨港パーク（第32回横浜開港記念広場）ほか2箇所

参加者：1,673名（アンケート回収人数）

内容：水源林紙芝居、クイズ、水源涵養の実験、丸太切り体験コーナー、木工教室、リーフレットの配布、募金活動

オ 水源林の集いの開催等

県、森林関係団体等で構成する県民との協働による森林づくり実行委員会の事務局として水源林の集い、新定着型ボランティア事業を実施した。

(ア) 水源林の集い

開催日：平成25年8月17日（土）

場所：やどりき水源林（松田町寄）

参加者：443名

内容：水源林トレッキング、水生生物観察、森のコンサート、森林交流会等

(イ) 新定着型ボランティア事業

場所：やどりき水源林、魚止めの森、煤ヶ谷水源林、ヤビツの森

団体数：19団体

内容：県所有の水源林の一定エリアについて、自主的に森林づくり活動を行う団体に対し支援を行った。

(4) 県民運動推進人材確保

県民運動実施に係る事務費等や県民参加の森林づくりを着実に推進するため職員を配置し、森林の機能や大切さ等に関する普及啓発活動やボランティア活動の企画及び関係機関との連絡調整等を行った。

6名（常勤）

(5) ポスト植樹祭事業

第61回全国植樹祭の開催理念を伝え広げるため、同植樹祭神奈川県実行委員会からの寄附金を活用し、森へ行こう、ジュニアフォレスター教室等を開催した。

ア 森へ行こう

開催日 平成25年5月26日(日)
場 所 小田原市久野
内 容 自然散策(歴史コース、森の探検コース)
参加者 100人

イ ジュニアフォレスター教室

開催日 平成25年6月30日ほか3日
場 所 南足柄市丸太の森ほか
内 容 森や川の探検や自然観察、キャンプ、林業体験等
参加者 延べ242人

ウ 植樹祭会場市町が実施するポスト植樹祭事業の支援

開催日 平成26年3月23日ほか1回
場 所 南足柄市、小田原市
内 容 植樹等
参加者 300名

5 緑の募金事業

(1) 緑の募金活動

ア 会議の開催

(ア) 第4回緑の募金運営協議会

開催日 平成25年5月21日(火)
場 所 波止場会館

(イ) 第5回緑の募金運営協議会

開催日 平成26年2月20日(木)
場 所 波止場会館

(ウ) 緑の募金関係機関連絡会議

開催日 平成25年9月19日(木)
場 所 神奈川県横浜西合同庁舎

イ 募金活動

学校、職場、企業、団体等において、緑の募金運動を展開し、次のとおり募金収入を得た。

緑の羽根募金	14,146,164 円
緑化グッズ募金	6,713,400 円
計	20,859,564 円

(募金実績 平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(2) 地域緑化の推進

ア 学園緑化推進事業

緑の募金協力校が実施する小規模な学校緑化(90校)に対し支援した。

イ 指定校緑化事業

緑の募金協力校の中から、神奈川県教育委員会及び神奈川県私学振興課の推薦を得て、学校環境緑化に積極的に取り組む17校を指定し、学校緑化を実施した。

(ア) 公立学校の部 (15校)

小学校 川崎市土橋小学校ほか5校
中学校 川崎市立高津中学校ほか6校
高等学校 県立釜利谷高等学校
中等教育学校 県立相模原中等教育学校

(イ) 私立学校の部 (2校)

湘南白百合学園小学校ほか1校

ウ ふれあい緑化事業

地域住民等が自主的に行う植樹活動への支援及び県民への苗木配布を実施するとともに「緑の募金」及び「かながわのナショナル・トラスト運動」の普及を図った。

(ア) 植 栽 川崎市中野島石河原公園ほか13箇所 685本

(イ) 苗木配布 秦野市総合体育館ほか3箇所 580本

(ウ) 資材購入 海老名市ほか1市 刈払機 2台

(エ) 地 拵 え 真鶴町 1箇所

エ 森林づくり体験 (自然環境保全活動)

箱根の小塚山のトラスト緑地において広く県民募集を行い、森林整備活動を実施した。

(ア) 実施日 平成25年8月28日 (水)

(イ) 場 所 箱根町仙石原小塚山

(ウ) 内 容 ササ刈り

(エ) 参加者 39名

オ 丹沢の緑を育む集いへの参加

丹沢大山地域において県民参加による森林衰退域への植生回復事業、ボランティアとの協働による大山北尾根周辺での植栽や保全活動、水質調査等を実施している「丹沢の緑を育む集い実行委員会」(構成員: 神奈川県、秦野市、清川村、かながわトラストみどり財団等) に支援した。

(3) 緑の少年団の育成

森林での体験学習活動、地域での社会奉仕活動、レクリエーション活動等を行う緑の少年団の育成強化と活動支援を実施した。

ア 緑の少年団交流集会の開催

開催日: 平成25年8月3日 (土)、4日 (日)

場 所: 県立山岳スポーツセンターほか

参加者: 計54名

イ 緑の少年団連絡調整会議

開催日: 平成25年5月11日 (土)

場 所: プロミティあつぎ

参加者: 11名

(4) 緑化運動・育樹運動コンクールの開催

緑化運動・育樹運動コンクールを実施し、入賞者を表彰した。

ア 表彰日 平成25年11月10日 (日)

イ 会 場 県立地球市民かながわプラザホール

ウ 入賞者等 (上位入賞作品は (公社) 国土緑化推進機構主催全国コンクールへ出品)

(ア) ポスター原画コンクール (応募点数 621点、入賞点数 58点)

		小学校	中学校	高等学校	合計
応募点数		302	257	62	621
賞の選定数	最優秀賞	1	1	1	3
	金賞	5	3	1	9
	銀賞	5	5	1	11
	銅賞	7	6	1	14
	佳作	9	9	3	21
	合計	27	24	7	58

(イ) 標語コンクール (応募点数 398点、入賞点数 41点)

		小学校	中学校	高等学校	一般	合計
応募点数		186	117	12	83	398
賞の選定数	最優秀賞	1	1	0	1	3
	金賞	3	2	1	1	7
	銀賞	5	3	1	1	10
	銅賞	4	3	0	1	8
	佳作	7	2	0	4	13
	合計	20	11	2	8	41

エ 平成26年用国土緑化運動・育樹運動コンクール (主催 (公社) 国土緑化推進機構)

(ア) ポスター原画コンクール

林野庁長官賞 (準特選) 1名、国土緑化推進機構理事長賞 (入選) 1名

(イ) 標語コンクール

入選 なし

(5) 協力等事業

ア (公社) 国土緑化推進機構関係

(公社) 国土緑化推進機構の要請により次の業務を実施した。

(ア) 企業の森づくり体験活動事業

企業が行う森林づくり体験活動をサポートするため、具体的な企画、提案を行うとともに、活動フィールドの整備、情報発信、森林インストラクターの派遣などを行った。なお、体験活動の円滑な実施のため、土地所有者等との協定を締結している。

(イ) 公募事業 (緑の募金、緑と水のファンド)

国民参加の森林づくり運動を推進するため、森林整備や緑化活動の事業に取り組む団体に対し、公募事業の周知を行った。

(緑の募金公募) 採択：10団体

(緑と水の森林ファンド公募) 採択：1団体

(ウ) 学校環境緑化モデル事業

学校環境の緑化を通じて、青少年環境教育の推進を目的に学校敷地内の緑化や環境教育フィールドの整備を行う学校に対し支援した。

申請：3校、採択：2校（厚木市立戸田小学校ほか1校）

(エ) 緑の募金推進体制整備交付金

「緑の募金」の推進体制整備、普及啓発・広報及び募金活動の展開についての取り組み強化等を行うための支援を受けた。

イ (公社) ゴルフ緑化促進会関係

(公社) ゴルフ緑化促進会からの協力金により公共施設等の緑化を実施した。

応募：7団体、採択：7団体（中井町ほか）

Ⅲ 理事会、評議員会等の開催状況

定款及び関係規程に基づき財団の運営について審議するため、次のとおり会議を開催した。

1 理事会

(1) 第3回定時理事会

開催日 平成25年6月6日（木）

場 所 横浜情報文化センター

(2) 第4回定時理事会

開催日 平成26年3月14日（金）

場 所 横浜情報文化センター

2 評議員会

第2回定時評議員会

開催日 平成25年6月21日（金）

場 所 横浜情報文化センター

3 緑の募金運営協議会

(1) 第4回緑の募金運営協議会〔再掲〕

開催日 平成25年5月21日（火）

場 所 波止場会館

(2) 第5回緑の募金運営協議会〔再掲〕

開催日 平成26年2月20日（木）

場 所 波止場会館

4 地区推進協議会会長会議

開催日 平成25年10月10日（木）

場 所 横浜情報文化センター

平成25年度事業報告書

平成25年度事業報告書には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成26年6月

公益財団法人かながわトラストみどり財団